

中山観光・季節のおはなし・旅だより 9月号

台風7号による影響で、近畿・中国・四国・東海地方など広範囲にわたり、記録的な暴風雨や浸水等の被害に遭われた方々に、
謹んでお見舞い申し上げますとともに、皆様のご安全と一日も早い復興を祈念致します。

まだまだ日中は残暑が続いていますが
朝晩は少しずつ涼しくなりましたね

9月は秋の気配を日に日に感じる季節…

夏とは違った風物詩を感じながらやがて秋分の日を迎えます。
皆様が思う秋の風物詩はなんでしょう？

自分だけの風物詩を生活に取り入れ、今年の秋を楽しみましょう

移り変わる季節の中で夏の疲れも出やすい頃…

どうぞ ご無理をせず お元気にお過ごし下さい。



9月は夏の暑さがやわらぎ、徐々に過ごしやすくなる時期。おいしい秋の味覚が出まわるほか敬老の日や十五夜があったり、秋祭りが開催されたりと、お楽しみが盛りだくさんですよね。この時期ならではの食べ物・行事・風物詩が多々あるなかで、「9月といえば？」と聞かれたら何を思い浮かべますか？

9月は台風シーズン。激しい暴風雨に見舞われると、せっかくの予定も台なしですね。

今年はお盆中に台風7号の影響で東海や近畿、中国地方、四国を中心に活発な雨雲がかり記録的な大雨となりました。東海道新幹線や山陽新幹線が運休になったほか、

在来線にも影響が出てお盆休みの帰省や旅行の足を直撃！今回の台風7号は今年初めて上陸した台風となりました



防災の日は、災害への備えについて見直す大切な日です。

今年100年の節目を迎える、1923年9月1日に発生した関東大震災が由来です。関東圏に甚大な被害をもたらし、たくさんの人が犠牲となりました。

その教訓から日本国内での防災意識が高まり、1959年の伊勢湾台風の被害も重なって、1960年に「防災の日」が制定されました。

防災の日は、過去の災害を振り返り、その教訓を活かして災害対策を

見直す大切な日です。災害発生時に正しい行動をできるように、

9月1日は定期的な防災グッズの見直しをして、身を守るための準備をしっかり確認しておきましょう。

「台風コロッケ」というワードを知っていますか？

「台風コロッケ」という言葉をご存知でしょうか？SNSを中心に、

台風が日本に来るたびに話題になるワードですが、

これは台風にちなんだコロッケというわけではなく、台風が来るからコロッケを食べる、ということ。

台風が来そうになるとコロッケをたくさん買う人が増えています。

きっかけは、2001年の8月21日に書き込まれた

「念のため、コロッケを16個買ってきました。もう3個食べてしまいました」という文章で台風速報のスレッドに書き込まれました

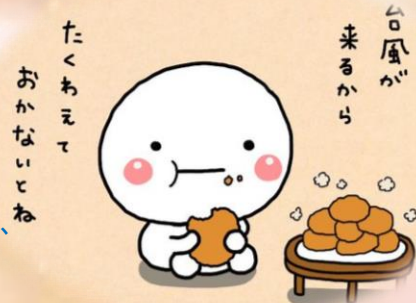
ふつう台風前の備えといったらカップ麺や飲料水などの保存食ですが、このなんの脈絡もないコロッケ大量購入報告が笑いを誘い、

「コロッケを食べたい」という人が続出。これが、ネット上で「台風の日はコロッケ」という風習が定着した由来です

ネットを中心にじわじわ拡大し、今では7割近くの人が認知しているという「台風コロッケ」

SNS社会になったこともあり、「台風が来るからコロッケ買ってこよ」とか「コロッケつくらなきゃ」といった投稿をする人が増えました。

元ネタの人も、ここまで全国的に定着するとは思っていませんでした(o^ー^o)♡



二百十日と二百二十日

日本は季節によって、様々な表情を見せる国です。春・夏・秋・冬の四季はもちろん、春の中でも初秋と晩秋では気候が違いますよね。

そんな細かな季節の違いを表す言葉に、「二百十日」と「二百二十日」があります。

二百十日は、立春から数えて210日目に当たる日のこと。二百二十日は、立春から数えて220日目に当たる日のこと。

この頃は稲が開花する重要な時期ですが、農作物に甚大な影響を与える台風に見舞われることも多い時期です。

そこで、過去の経験から、農家にとっては油断のならないこの日を厄日として戒めるようになりました。

旧暦8月1日の「八朔」、「二百十日」、「二百二十日」を農家の三大厄日としています。

現在のように台風の予測ができなかった時代、人々はこの日を恐れて警戒し、風を鎮める祭りを行って収穫の無事を祈るようになりました。

農作物を守るために風を鎮めるための風祭りは全国各地に残っています。特に富山市八尾町で行なわれる風祭り、越中八尾「おわら風の盆」は

小説や歌にも登場し、よく知られています。



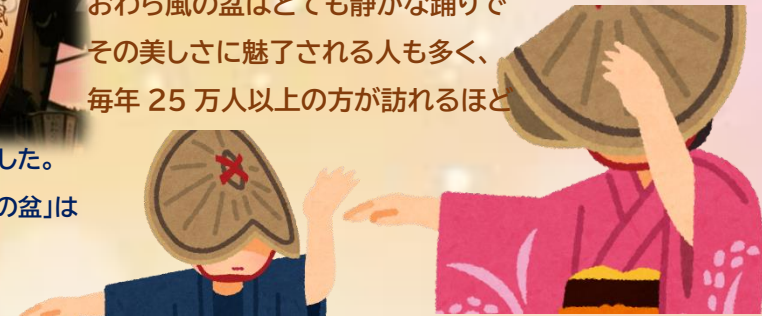
おわら風の盆は、毎年9月1日から3日にかけて開催される盆踊り。

風を鎮めるお祭りと、お盆の盆踊りが一つになったもので盆踊りといえば賑やかなイメージがありますが、

おわら風の盆はとても静かな踊りで

その美しさに魅了される人も多く、

毎年25万人以上の方が訪れるほど



9月2日は
宝くじの日

9月2日は宝くじ愛好者の楽しみのひとつ『宝くじの日』です

購入した年末ジャンボ宝くじやスクラッチカード etc...

ハズレたからと言って捨てたりしていませんか？

ハズレても1年に1回だけ9月2日の宝くじの日に豪華商品が当たるチャンス！

敗者復活戦があるので忘れずにチェックしましょう



酒列磯前神社

海が見える鳥居

宝くじが当たる金運スポット！ 境内で宝くじ高額当選祈願祭が行われている酒列磯前神社

常陸国のふたつのパワースポット！大洗磯前神社と酒列磯前神社 合わせてお参りするとご利益増倍！

大洗磯前神社は、茨城県の大洗町・太平洋に面した山の上にあり、神社前に広がる海岸は神域とされています。

海中に立つ鳥居「神磯の鳥居」はフォトジェニックな景観から人気のスポット！

一方、酒列磯前(さかつらいそさき)神社があるのは、大洗磯前神社から車で20分ほど北上した、ひたちなか市にあります。

同じく太平洋に面した山の上にあります。大洗磯前神社とはまた違った雰囲気、ひっそりと静かな佇まいを感じさせる神社です。

大洗磯前神社の御祭神は、大己貴命(おおなむちのみこと)で、慈悲深く福德を授ける、縁結び、商売繁盛、子宝の神として信仰されています。

別名・大国主命(おおくにぬしのみこと)や、大黒様と呼ばれ、出雲大社のご祭神として・また因幡の白うさぎのお話も有名ですね

酒列磯前神社の御祭神は、少彦名命(すくなひこなのみこと)で、医療医学の神として病気平癒、健康長寿、家内安全、商売繁盛などのご利益がある神様…

別名・えびす様・エビで鯛を釣る福德の神様でもあります。

ある時、大洗の磯前に降臨した神様たちがこの国を造りました。国を造り終えた後、神様は東海に行ってしまいました。

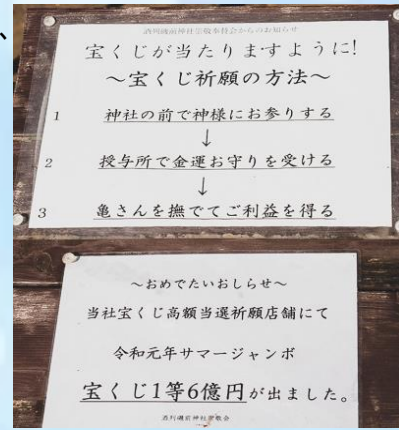
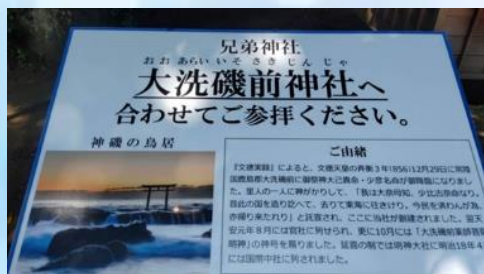
平安時代、天然痘などの疫病が大流行していた時、人々を困難から救うためにまた戻ってきたそうです。その後856年、二社がそれぞれの地に創建されました。

酒列磯前神社は、宝くじが当たるパワースポットとして人気を集める神社です。参道の出口付近の左側にはこの酒列磯前神社を参拝した後に

宝くじが当たったという方が寄贈した「幸運の亀の像」があり、神社にお参りして、亀石象に触ると御利益があると評判になり、

大安日には大にぎわいになっています。

兄弟神社とも言われる大洗磯前神社と酒列磯前神社を合わせてお参りすることでご利益も増倍だとか(o^-^o)コ



神磯の鳥居

波に洗われる岩礁に鳥居がすくくとたたずむ大洗磯前神社と、神が宿るとされるタブノキの巨木に包まれた酒列磯前神社。磯前という名前が同じだけでなく、ご祭神も、国づくりに力を尽くした大己貴命と少彦名命と兄弟。二柱の神々が、国難にあえぐ日本を救うために鹿島灘の岩礁に光り輝きながら再び降臨した様子は、平安時代の国史『日本文徳天皇実録』にも記されています。このふたつの磯前神社にお参りすれば安らかな癒しと神秘的の力を感ずります。ご利益もついてきますよ

9月といえば、色々な秋の草花が見頃を迎える時期で、ハギ、キキョウ、クズ、フジバカマ、オミナエシ、オバナ、ナデシコの秋の七草はお月見のお供えでもお馴染みの初秋を代表する花ですよ。また、9月後半の秋の彼岸の頃になると、彼岸花が一斉に咲き始め全国各地の彼岸花の群生地は多くの見物客が訪れ、賑わいを見せます。



埼玉県の日高市にある巾着田をご存知でしょうか？

日本の田舎の原風景が広がるとてもものどかな場所です。

とくに秋の彼岸の頃に咲く曼珠沙華は、あたり一面が真紅に染まり、赤い絨毯を敷き詰めたように咲き乱れます。その数は約500万本！

直径約500メートル、面積約22ヘクタールの川に囲まれた平地に、一面が真紅に染まり、まるで異界へ誘われるかのような幻想的な景観は思わず息を飲むほど！

日本一のスケールと伝えられています。

巾着田曼珠沙華まつり 2023

開催日程:2023年9月16日(土)~10月1日(日) 9:00~16:30

開花中の入場料:500円

曼珠沙華は気温が下がると成長を始めるため、8月中旬から下旬にかけて気温が低くなると開花が早まり、逆に9月上旬になってからも残暑が続くようだと開花が遅くなる傾向があるそうです。

彼岸花は 別名「曼珠沙華」と呼ばれ、「天上の花」という意味があり慶事が起こる前触れには赤い花が天からふってくるという仏教の経典によるもの

彼岸花って不思議な花

春にかけて球根に栄養をため、夏が近づくと葉は枯れてしまい休眠期に入り、やがて秋雨の後、彼岸の頃にまた一気に花を咲かせます。つまり…花のある時に葉はなく、葉のある時に花はない、そんな不思議な植物です。このような特徴から、「葉見ず花見ず」と呼ばれています。

真っ赤に染まった彼岸花は、幻想的で非日常の世界に連れて行ってくれそうな雰囲気。一面に広がる彼岸花を眺めながら、ゆっくりと名所を散策してみませんか？

弊社のNKJ ツアーも9月24日(日)に企画しています。

詳しくはHPから自社ツアーのご案内をご覧ください、お気軽にお問合せ下さい

秋の七草は食べられるのでしょうか？

中には食べられる、葛のような植物もあります。

でも…秋の七草は食べるのではなく、見て秋の訪れを感じる…そういう植物です。

春の七草は食べすぎ・飲みすぎた体を休めるために、体にやさしい七草がゆとしていただきますが秋は見て楽しむというわけです。

秋の七草のは語呂合わせは「お好きな服は」

お…おみなえし
す…すすき(=おばな)
き…ききょう
な…なでしこ
ふ…ふじばかま
く…くず
は…はぎ



巾着田という特徴的な名前の由来は、日和田山から巾着田を見ると、その地形が小銭などを入れた膨らんだ「巾着袋」に似ているため、そこから巾着田と呼ばれるようになったとか

彼岸花の花言葉は、「独立」「あきらめ」「再会」「情熱」「悲しい思い出」「また会う日を楽しみに」「想うはあなた一人」などたくさんあります。彼岸花には毒があるのですが、花言葉からは想像もつきませんね。

また彼岸花の迷信はいくつかありますが、その中には「彼岸花を家に持ち帰ると火事になる」という迷信があります。これは、彼岸花の花が赤くて、花が咲いているその姿は炎を連想させることから火事をイメージしているのだといわれています。

彼岸花の花言葉、「情熱」もこの燃え盛る炎を連想させる姿が由縁かもしれません。





秋シーズンが始まる前に社員も親睦旅行

日々の運行もあるので2班に分かれてお出かけ！
1班は大洗のマルト BBQ ガーデン様にお世話になりました。
2班は9月上旬に計画しています。
皆さんとても楽しそう！
秋シーズンも安心・安全をモットーに頑張ります！



